2026年1月末

夢咲かせ

変額個人年金保険（災害死亡10％型）

特別勘定運用レポート

（組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株式インデックスＡ型	日本株式225ファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	1
日本株式インデックスＴ型	SMAM・国内株式パッシブ・ファンド		2
日本株式アクティブＡ型	リサーチ・アクティブ・オープン（変額年金保険向け）	野村アセットマネジメント株式会社	3
外国株式インデックスＡ型	外国株式インデックス・ファンドVA1	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	4
外国株式アクティブＡ型	フランクリン・テンプルトン・グローバル株式ファンドVA	フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	5
外国債券インデックスＴ型	SMAM・外国債券インデックスファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	6
外国債券アクティブＡ型	ベアリング外国債券ファンドVA2	ベアリングス・ジャパン株式会社	7
バランス型30	バランスVA30	三井住友トラスト･アセットマネジメント株式会社	8
バランス型50	バランスVA50		9
短期資金A型	フィデリティ・マネー・プールVA	フィデリティ投信株式会社	10

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

MSPL-2405-B-0153-00

特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって

当資料をご覧いただく際にご留意いただきたい事項

・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命の夢咲かせ〔変額個人年金保険（災害死亡 10%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、［組入投資信託の運用状況］に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。

・［組入投資信託の運用状況］は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認いただきたい事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。

・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項　目	目　的	費　用	時　期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 1.95%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
日本株式インデックスA型	0.4785%程度
日本株式インデックスT型	0.083%程度
日本株式アクティブA型	0.7095%程度
外国株式インデックスA型	0.418%程度

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
外国株式アクティブA型	0.748%程度
外国債券インデックスT型	0.198%程度
外国債券アクティブA型	0.748%程度
バランス型 30	0.517%程度*1

特別勘定の名称	資産運用関係費（消費税込 年率）
バランス型 50	0.539%程度*1
短期資金A型	0.00935%～0.55%程度*2

※ 2005 年 9 月 30 日「バランス型 70」、2017 年 11 月 30 日「日本株式アクティブ B 型」が廃止されております。

＊1 投資信託とそのマザーファンドにおいて有価証券の貸付の指図を行った場合は、投資信託の品貸料およびマザーファンドの品貸料のうち投資信託の信託財産に属するとみなした額に50%未満の率を乗じて得た額を信託報酬として、各特別勘定の資産残高から控除します。
・品貸料は投資信託の収益として計上され、その一部を信託報酬として受取るものです。

＊2 前月の最終営業日を除く最終５営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。

ご注意

・資産運用関係費は信託報酬を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

・資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項　目	費　用		時　期
契約維持費	積立金が 200 万円未満のとき	毎月 400 円	月ごとの契約応当日に積立金から控除します。
積立金移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円／回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 1.95%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、払込保険料総額に対して 1～7%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、一部解約請求金額に対して 1～7%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日（増額日）からの経過年数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上7年未満	7年以上8年未満	8年以上9年未満	9年以上10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	**7%**	**7%**	**6%**	**6%**	**5%**	**5%**	**4%**	**3%**	**2%**	**1%**	**0%**

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項　目	費　用	時　期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

特別勘定の名称：日本株式インデックスＡ型

日本株式225ファンドVA

夢咲かせ

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

【日本株式225ファンドVA】

● 設定来の運用実績

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ 日経平均トータルリターン・インデックスについては、ファンド設定日前日を10000とした指数を使用しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。また、本件商品を日本経済新聞社が保証するものではありません。

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
当ファンド	5.89%	1.71%	30.69%	36.80%	663.05%
ベンチマーク	5.93%	1.87%	30.96%	37.38%	752.75%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
ベンチマークは日経平均トータルリターン・インデックスです。

● 組入上位10銘柄（マザーファンド）

（2026年1月30日現在）

	銘柄名	業種	比率
1	アドバンテスト	電気機器	12.5%
2	ファーストリテイリング	小売業	8.6%
3	東京エレクトロン	電気機器	7.6%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	6.2%
5	ファナック	電気機器	1.9%
6	KDDI	情報・通信業	1.9%
7	TDK	電気機器	1.8%
8	中外製薬	医薬品	1.6%
9	信越化学工業	化学	1.6%
10	リクルートホールディングス	サービス業	1.5%
	上記合計		45.3%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数 225）

● マザーファンドの純資産総額

（2026年1月30日現在）

純資産総額（百万円）	385,828

〈四半期推移〉

25/3	25/6	25/9	25/12
264,701	296,908	319,318	360,453

● 資産構成（マザーファンド）

（2026年1月30日現在）

株式	97.6%
先物	2.4%
オプション等	0.0%
合計	100.0%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位業種（マザーファンド）

（2026年1月30日現在）

	業種名	比率
1	電気機器	34.1%
2	情報・通信業	11.5%
3	小売業	11.2%
4	医薬品	4.9%
5	化学	4.7%
	上記合計	66.5%

※マザーファンド株式評価額対比

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：日本株式インデックスＴ型

SMAM・国内株式パッシブ・ファンド

夢咲かせ

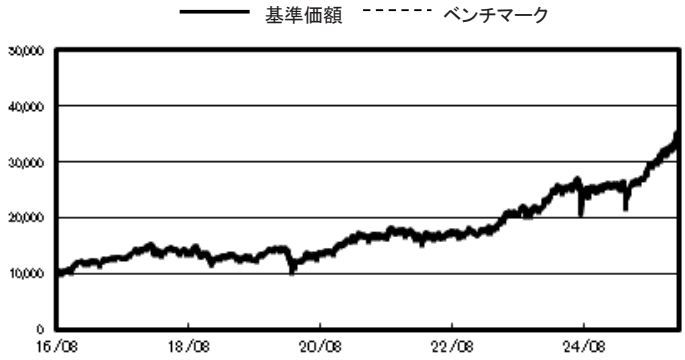
■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

【SMAM・国内株式パッシブ・ファンド】

（2026年1月30日現在）

●運用実績



●基準価額および純資産総額

	1月30日	前月比
基準価額（円）	42,981	1,899
純資産総額（百万円）	13,084	214

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ ＴＯＰＩＸ（東証株価指数、配当込み）をベンチマークとします。
■ グラフは、「夢咲かせ」で当ファンドの組入を開始した日（2016. 8. 24）の前日を10000として指数化しています。
■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年	組入開始来
ファンド	4.62%	7.18%	22.50%	31.01%	21.03%	24.69%	13.92%
ベンチマーク	4.62%	7.21%	22.54%	31.07%	21.10%	24.76%	13.96%

※ 騰落率は年率換算しています。ただし、1年未満は年率換算前です。　※ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
※ ファンドの騰落率を算出する基準価額は信託報酬控除後です。　※ ファンドの騰落率は分配金再投資ベースです。
※ “組入開始来”の騰落率は、「夢咲かせ」で当ファンドの組入を開始した日（2016.8.24）の前日を基準としております。

● 資産構成

	ファンド	前月比
株式	99.20%	0.0%
先物等	0.81%	0.1%
現預金等	−0.02%	−0.1%
合　計	100.0%	0.0%

※比率は、マザーファンドの資産の内訳を含めた実質組入れ比率（対純資産総額比率）です。

●組入上位10業種（マザーファンド）

	業種名	比率
1	電気機器	18.55%
2	銀行業	11.03%
3	卸売業	8.00%
4	輸送用機器	6.87%
5	情報・通信業	6.53%
6	機械	6.44%
7	化学	4.47%
8	小売業	4.16%
9	医薬品	3.64%
10	サービス業	3.39%

※マザーファンド現物株式評価額対比

● 組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.66%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.42%
3	日立製作所	電気機器	2.71%
4	ソニーグループ	電気機器	2.34%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.33%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.86%
7	東京エレクトロン	電気機器	1.72%
8	三菱商事	卸売業	1.70%
9	三菱重工業	機械	1.68%
10	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.61%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数　1,616 ）

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：日本株式アクティブＡ型

リサーチ・アクティブ・オープン(変額年金保険向け)

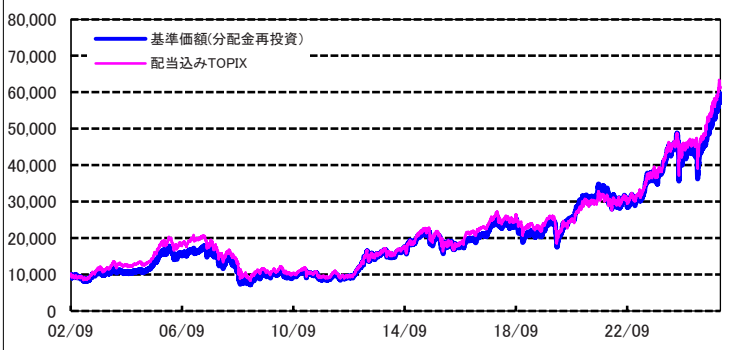
夢咲かせ

投資信託の名称 ： リサーチ・アクティブ・オープン(変額年金保険向け・適格機関投資家専用)

設定来の運用実績

2026年1月30日 現在

運用実績の推移 (設定日前日 = 10,000として指数化；日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	56,113 円
	※分配金控除後
純資産総額	0.6 億円

騰落率		
期間	ファンド	配当込みTOPIX
1ヶ月	3.9%	4.6%
3ヶ月	6.8%	7.2%
6ヶ月	22.0%	22.5%
1年	30.0%	31.1%
設定来	479.0%	515.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 = 2002年9月27日 以降

信託期間	無期限
決算日	10月30日(原則)
設定日	2002年9月27日

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年10月	5 円
2024年10月	5 円
2023年10月	5 円
2022年10月	5 円
2021年11月	5 円
設定来累計	470 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

資産内容

2026年1月30日 現在

資産・市場別配分

資産・市場	純資産比
東証プライム	97.1%
東証スタンダード	－
東証グロース	－
その他の市場	－
株式先物	－
その他の資産	2.9%
合計(※)	100.0%

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

業種別配分

業種	純資産比
電気機器	24.0%
機械	11.3%
小売業	8.1%
卸売業	7.8%
化学	6.5%
その他の業種	39.4%
その他の資産	2.9%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年1月30日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比
ソニーグループ	電気機器	東証プライム	4.8%
トヨタ自動車	輸送用機器	東証プライム	3.8%
豊田通商	卸売業	東証プライム	3.8%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	東証プライム	3.6%
東京エレクトロン	電気機器	東証プライム	3.5%
東京海上ホールディングス	保険業	東証プライム	3.2%
富士通	電気機器	東証プライム	3.2%
ファナック	電気機器	東証プライム	3.1%
信越化学工業	化学	東証プライム	2.9%
大阪瓦斯	電気・ガス業	東証プライム	2.9%
合計			34.8%

組入銘柄数 ： 61 銘柄

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

◆運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国株式インデックス・ファンドVA1（適格機関投資家専用）
月次運用報告書

追加型投信／海外／株式／インデックス型

設定・運用：
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

2026年1月30日現在

基準価額	111,006円
純資産総額	458百万円
銘柄数（マザーファンド）	1,157
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.418%（税抜0.38%）

マザー純資産総額	452,844百万円
β値	1.00
推定トラッキングエラー	0.01%

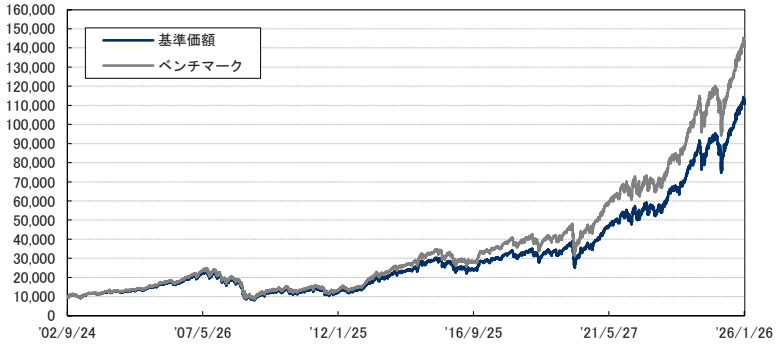
＜商品の特色＞
◆投資目的
日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とした「外国株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ｵｰﾌﾟﾝ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。
◆投資対象
外国株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ｵｰﾌﾟﾝ・ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ受益証券を主たる投資対象とします。

<1月の市場概況>
1月の外国株式市場は、デンマーク自治領グリーンランドを巡る米欧対立懸念から調整する場面がありましたが、米経済の先行きに対する楽観的な見方やドイツ経済の回復期待に加えて、堅調な商品相場や中国当局による政策期待も相場を支える中、上昇しました。
米国市場は、利益確定売りやグリーンランドを巡る米欧対立懸念から調整する場面がありましたが、米経済の先行きに対する楽観的な見方が相場を支える中、上昇しました。ダウ平均は48,892.47（前月比+1.73%）、ナスダック総合指数は23,461.82（前月比+0.95%）、S&P500指数は6,939.03（前月比+1.37%）で終了しました。
欧州市場は、グリーンランドを巡る米欧対立懸念から調整する場面がありましたが、米株高やドイツ経済の回復期待に加えて、地政学リスクの高まりから防衛・航空関連銘柄が買われたことも相場を支えました。英FTSE100指数は10,223.54（前月比+2.94%）、仏CAC40指数は8,126.53（前月比-0.28%）、独DAX指数は24,538.81（前月比+0.20%）で終了しました。
アジア市場は、オーストラリア市場は豪準備銀行（中央銀行）の利上げ観測が重荷となりましたが、堅調な商品相場や米欧株式相場の上昇を背景とした投資家のリスク選好姿勢を受けて、上昇しました。香港市場は米株高や中国当局による政策期待が相場を後押ししました。豪ASX200指数は8,869.15（前月比+1.78%）、香港ハンセン指数は27,387.11（前月比+6.85%）で終了しました。

1月の外国為替市場は、米経済の底堅さを受けた米長期金利上昇や衆院解散を巡る財政拡張懸念が円売り・ドル買い材料となりましたが、日米が協調で為替介入に踏み切るとの警戒感から円高・ドル安が進みました。ユーロに対しても円高となりましたが、欧州の政策金利据え置き観測や米欧株式相場の上昇を受けた投資家のリスク選好姿勢がユーロの支援材料となりました。その他主要国通貨に対してはまちまちの展開となりました。円は対米ドルで月間1.85%上昇の153.66円となりました。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）のパフォーマンスは前月比-0.09%となりました。

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移
2026年1月30日現在



注：ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）のデイリー・リターンをTTM レートで円換算し、2002年9月23日を10,000 として換算し直しています。

信託財産構成比※

項目	国名	2026/1/30
外国株式	[全体]	94.1%
	<北米>	74.6%
	アメリカ	71.1%
	カナダ	3.5%
	<アジア・太平洋>	2.6%
	オーストラリア	1.6%
	香港	0.5%
	シンガポール	0.4%
	ニュージーランド	0.0%
	<ヨーロッパ>	16.6%
	イギリス	3.7%
	フランス	2.6%
	ドイツ	2.4%
	スイス	2.4%
	オランダ	1.4%
	イタリア	0.8%
	スペイン	1.0%
	スウェーデン	0.9%
	フィンランド	0.3%
	ベルギー	0.3%
	アイルランド	0.1%
	デンマーク	0.5%
	ノルウェー	0.2%
	ポルトガル	0.1%
	オーストリア	0.1%
	<アフリカ・中東>	0.3%
	イスラエル	0.3%
その他(現金及び株価指数先物)		5.9%

分配実績（税引前）

第10期	(2011.11.30)	0円
第11期	(2012.11.30)	0円
第12期	(2013.12.2)	0円
第13期	(2014.12.1)	0円
第14期	(2015.11.30)	0円
第15期	(2016.11.30)	0円
第16期	(2017.11.30)	0円
第17期	(2018.11.30)	0円
第18期	(2019.12.2)	0円
第19期	(2020.11.30)	0円
第20期	(2021.11.30)	0円
第21期	(2022.11.30)	0円
第22期	(2023.11.30)	0円
第23期	(2024.12.2)	0円
第24期	(2025.12.1)	0円

基準価額騰落率	設定来	1年間
（税引前分配金込）	1010.06%	18.11%

騰落率

	ファンド	ベンチマーク	差
1ヶ月	-0.16%	-0.09%	-0.07%
3ヶ月	3.39%	3.60%	-0.21%
6ヶ月	14.19%	14.61%	-0.41%
1年	18.11%	19.07%	-0.96%
2年	49.61%	52.00%	-2.39%
3年	101.73%	106.63%	-4.91%
設定来	1010.06%	1310.39%	-300.33%

上位10銘柄※

	銘柄名	投資国名	業種名称	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.5%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.5%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.6%
4	AMAZON COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.3%
6	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%
7	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%
8	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.7%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.4%
10	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.0%

※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。
○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
○当ファンドは主に外国の株式に投資するため、組入れた株式の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：外国株式アクティブＡ型

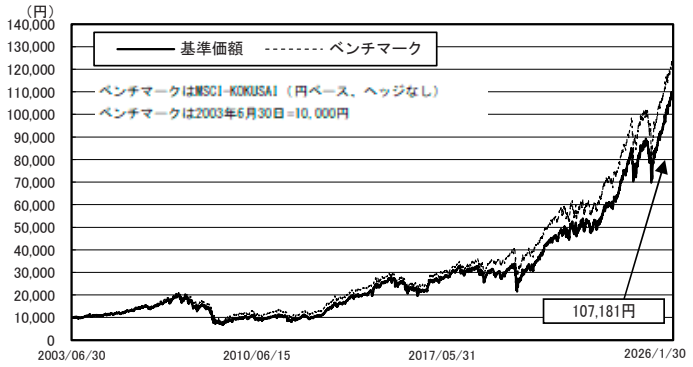
フランクリン・テンプルトン・グローバル株式ファンドVA

夢咲かせ

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社：フランクリン・テンプルトン・グローバル株式ファンドVA

2026年1月30日現在

●基準価額の推移



●設定日：2003年6月30日

●マザーファンドの純資産総額　8,868,101,082円

●基準価額　107,181円

●投資収益率1)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	設定来
ファンド	0.11%	5.22%	17.73%	21.51%	971.81%
ベンチマーク2)	−0.28%	2.96%	14.18%	18.42%	1098.84%

1）投資収益率は全てトータル・リターンで計算されています。トータル・リターンとは、投資の利回りを計算する際に、利息または配当収益、再投資収益、売買または償還損益を合計する計算方法です。ファンドが対象期間にどれだけ値上り（値下がり）したかを計算する際に、分配金等がすべて再投資されたものと仮定しています。
2）ベンチマークはMSCI-KOKUSAI（円ベース、ヘッジなし）
MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI INC.の財産であり、その著作権はMSCI INC.に帰属します。

●上位組入れ銘柄　組入銘柄数：　110

	銘柄名	国	業種	純資産比
1	エヌビディア	米	情報技術	6.6%
2	アップル	米	情報技術	5.0%
3	マイクロソフト	米	情報技術	4.3%
4	アルファベット　CL C	米	コミュニケーション・サービス	3.0%
5	メタ・プラットフォームズ	米	コミュニケーション・サービス	2.7%
6	アマゾン・ドット・コム	米	一般消費財・サービス	2.7%
7	アルファベット　CL A	米	コミュニケーション・サービス	2.6%
8	ラムリサーチ	米	情報技術	1.6%
9	ウォルマート・ストアーズ	米	生活必需品	1.5%
10	アプライド・マテリアルズ	米	情報技術	1.4%

●業種配分

業種	純資産比	ベンチマーク
情報技術	28.9%	27.1%
金融	14.5%	16.6%
コミュニケーション・サービス	10.9%	9.1%
一般消費財・サービス	10.0%	9.4%
ヘルスケア	9.7%	9.8%
資本財・サービス	8.5%	10.7%
生活必需品	5.8%	5.4%
素材	4.2%	3.5%
エネルギー	3.2%	3.8%
公益事業	2.6%	2.7%
不動産	0.5%	1.8%
その他	1.2%	0.0%

（注）上記業種配分におけるその他は現金等

●通貨別配分

通貨	純資産比	ベンチマーク
米ドル	75.2%	76.0%
ユーロ	9.4%	9.4%
英ポンド	4.6%	4.0%
その他	10.8%	10.7%
合計	100.0%	100.0%

●市況概況

当月の株式相場は、パフォーマンスがまちまちとなりました。

米国株式については、上昇しました。上旬は、年始の薄商いの中、人工知能（AI）に対する楽観的な見方を受けて半導体関連株が買われたことから、株式市場は底堅く推移しました。中旬は、半導体関連株高のほか、住宅購入コストの低下につながる政策への期待から住宅関連株が上昇し、株価は一時高値を更新しました。しかし、その後はトランプ米大統領によるグリーンランド領有を巡る欧州向け関税措置への警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場は大きく調整する展開となりました。下旬は、米政権による欧州向け関税措置の撤回を受けて、市場の警戒感が和らいだことに加え、堅調な米経済指標を背景に、株式市場は持ち直しました。

欧州株式については、まちまちとなりました。上旬は、ドイツやフランスなど欧州主要国の経済指標において物価上昇率の鈍化が示されたことを受け、欧州中央銀行（ECB）が2026年中に利上げを実施するとの観測が後退する中、欧州の株式市場は上昇しました。中旬は、グリーンランド領有を巡る米国から欧州に向けた関税措置への警戒感から、高級品や自動車といった輸出関連株を中心に売りが広がり、欧州の株式市場は下落しました。下旬は、米政権から欧州への関税措置の撤回表明を受け、株価は一時持ち直したものの、月末にかけては、ドイツのテクノロジー関連企業の決算が市場予想に届かなかったことなどを背景に、欧州の株式市場は軟調に推移しました。

●当月の運用経過

当月は、バリュエーションおよび収益モメンタム等に注目したボトムアップによる銘柄選択により、各セクターの中から相対的魅力度のより高い銘柄に選別投資を行いました。当月の当ファンドのパフォーマンスはプラスとなり、ベンチマークを上回りました。

●当資料は説明資料としてフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社が作成した資料であり、「金融商品取引法」に基づく開示資料あるいは「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づき作成された運用報告書ではありません。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●当社および当社グループの役職員は当資料に記載された会社の有価証券を保有し、またこれらの会社と各種の取引関係にある可能性があります。●当資料に記載されている投資判断には、非公開情報に基づくものはありません。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：外国債券インデックスＴ型

SMAM・外国債券インデックスファンドVA

夢咲かせ

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友DSアセットマネジメント

【SMAM・外国債券インデックスファンドVA】

（2026年1月30日現在）

● 設定来の運用実績

●基準価額および純資産総額

	1月30日	前月比
基準価額（円）	23,042	−208
純資産総額（百万円）	1	0

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとします。
■ 設定日前日（2003年6月20日）を10000として指数化しています。
■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

●騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年	設定来
ファンド	−0.89%	1.65%	7.29%	9.54%	7.34%	9.79%	3.76%
ベンチマーク	−0.87%	1.71%	7.42%	9.70%	7.57%	9.97%	3.97%

※ 騰落率は年率換算しています。ただし、1年未満は年率換算前です。
※ ファンドの騰落率を算出する基準価額は信託報酬控除後です。
※ ベンチマークは基準価額の前日の指数を使用しています。
※ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
※ ファンドの騰落率は分配金再投資ベースです。

● 資産構成（マザーファンド）

	ファンド	前月比
債券	99.59%	−0.2%
先物等	0.00%	0.0%
現預金等	0.41%	0.2%
合　計	100.0%	0.0%

※マザーファンド純資産総額対比

●デュレーション

ファンド	6.14年
ベンチマーク	6.20年

●組入上位10ヵ国（マザーファンド）

	国名	比率	ベンチマーク構成比
1	アメリカ	45.07%	45.29%
2	中国	11.66%	11.72%
3	フランス	7.29%	7.32%
4	イタリア	6.82%	6.86%
5	イギリス	6.00%	5.99%
6	ドイツ	5.73%	5.75%
7	スペイン	4.37%	4.39%
8	カナダ	2.10%	2.10%
9	ベルギー	1.54%	1.53%
10	オーストラリア	1.27%	1.27%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	クーポン	償還日	比率
1	CHINA GOVERNMENT BOND 2.6 09/15/30	2.60%	2030/9/15	0.74%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 1.45 02/25/28	1.45%	2028/2/25	0.73%
3	CHINA GOVERNMENT BOND 3.02 05/27/31	3.02%	2031/5/27	0.46%
4	CHINA GOVERNMENT BOND 2.91 10/14/28	2.91%	2028/10/14	0.45%
5	US TREASURY N/B 4 02/15/34	4.00%	2034/2/15	0.44%
6	CHINA GOVERNMENT BOND 1.79 03/25/32	1.79%	2032/3/25	0.44%
7	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	3.72%	2051/4/12	0.42%
8	US TREASURY N/B 3.625 08/15/28	3.625%	2028/8/15	0.41%
9	CHINA GOVERNMENT BOND 1.46 05/25/28	1.46%	2028/5/25	0.41%
10	CHINA GOVERNMENT BOND 2.4 07/15/28	2.40%	2028/7/15	0.41%

※マザーファンド純資産総額対比

（組入全銘柄数　968 ）

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：外国債券アクティブA型

ベアリング外国債券ファンドVA2

夢咲かせ

ベアリング 外国債券 ファンド VA2（適格機関投資家専用）

BARINGS

設定：ベアリングス・ジャパン株式会社

作成基準日：2026年01月30日

ファンドの特徴：

1.安定したインカム（利子等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。

2.FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとし、これを上回る運用成績を目指します。

3.マザーファンドを通じて日本を除く先進国の国債を中心に分散投資を行います。

4.円に対する為替ヘッジは原則として行いません。

《基準価額》

	2025/12/30	2026/1/30
基 準 価 額	26,119円	25,880円

基準価額は信託報酬（年率0.748%（税込）、0.68%（税抜））控除後のものです。（以下同じ。）

《ポートフォリオ特性》 *マザーファンド・ベース

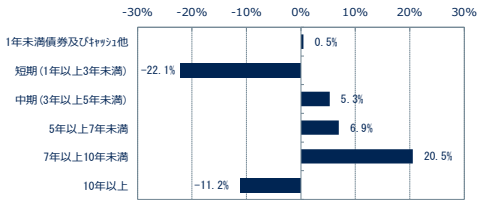
	当投資信託	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	対比
平均残存期間(年)	7.28	8.84	-1.56
修正ﾃﾞｭﾚｰｼｮﾝ(年)	6.18	6.23	-0.05

《組入通貨別配分比率》 *マザーファンド・ベース

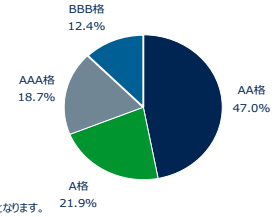
通貨名	当投資信託		ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	対比
	為替ﾍｯｼﾞ前	為替ﾍｯｼﾞ後		
米ﾄﾞﾙ	35.2%	45.0%	45.1%	▲0.1%
ｶﾅﾀﾞﾄﾞﾙ	2.8%	2.1%	2.1%	▲0.0%
ｵｰｽﾄﾗﾘｱﾄﾞﾙ	1.4%	2.2%	1.3%	0.9%
ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞﾄﾞﾙ	2.9%	0.3%	0.3%	0.0%
ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙﾄﾞﾙ	2.2%	0.4%	0.4%	0.0%
ﾄﾞﾙ圏小計	**44.4%**	**49.9%**	**49.2%**	**0.7%**
ﾕｰﾛ	34.6%	29.2%	29.8%	▲0.6%
英ﾎﾟﾝﾄﾞ	10.7%	5.0%	5.9%	▲0.9%
ﾃﾞﾝﾏｰｸｸﾛｰﾈ	0.0%	0.0%	0.2%	▲0.2%
ｽｳｪｰﾃﾞﾝｸﾛｰﾅ	0.2%	0.9%	0.2%	0.7%
ｽｲｽﾌﾗﾝ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ﾉﾙｳｪｰｸﾛｰﾈ	0.2%	0.7%	0.2%	0.6%
ﾎﾟｰﾗﾝﾄﾞｽﾞﾛﾁ	0.5%	0.7%	0.7%	▲0.0%
欧州圏小計	**46.2%**	**36.5%**	**37.0%**	**▲0.4%**
ｲｽﾗｴﾙｼｪｹﾙ	0.0%	0.0%	0.4%	▲0.4%
ﾒｷｼｺﾍﾟｿ	2.5%	0.9%	0.9%	▲0.0%
人民元	5.9%	11.6%	11.9%	▲0.3%
ﾏﾚｰｼｱﾘﾝｷﾞｯﾄ	0.0%	0.0%	0.5%	▲0.5%
その他小計	**8.4%**	**12.6%**	**13.8%**	**▲1.3%**
円	**1.0%**	**1.0%**	**0.0%**	**1.0%**
合計	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**0.0%**

*日本円の部分には為替評価損益を含みます。

《対ベンチマーク残存年限分布比較》 *マザーファンド・ベース



《格付別分布》
*マザーファンド・ベース



※格付は有力格付機関の格付の内、最も高い格付を採用した場合の分布となります。格付は当資料作成基準日現在の格付を使用。

《当投資信託の騰落率》 設定日：2002年9月24日

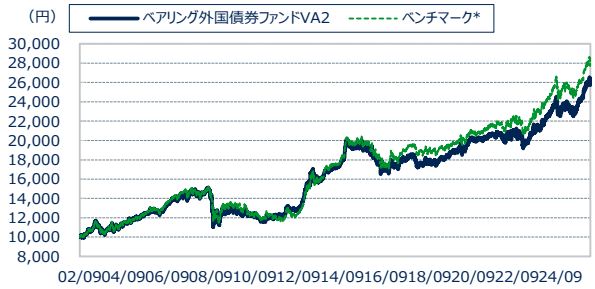
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	-0.92%	1.50%	7.35%	9.99%	31.49%	158.80%
ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	-0.88%	1.71%	7.19%	9.50%	32.87%	179.55%
差	-0.04%	-0.21%	0.15%	0.49%	-1.38%	-20.75%

＊ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）の前日（土、日等を除く）のドルベースの数値をファンドで採用している為替レート（東京外国為替市場ドル円仲値）で円換算しており、ファンドの基準価額算出方式に合わせています。

《ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞの当月末及び過去4四半期の純資産残高推移》 単位:百万円

	2025/03	2025/06	2025/09	2025/12	2026/01
純 資 産 総 額	17,819	16,774	16,840	18,209	18,148

《設定来基準価額（税引前分配金込）とベンチマークの推移》



*ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として指数化して表示しています。

《組入上位10銘柄》 組入銘柄総数： 43 *マザーファンド・ベース

	銘柄	通貨	ｸｰﾎﾟﾝ (%)	償還日	格付※	比率
1	米国国債	USD	4.000	2034/02/15	AA+/Aa1	11.73%
2	英国国債	GBP	0.250	2031/07/31	AA/Aa3	8.90%
3	米国国債	USD	0.875	2030/11/15	AA+/Aa1	6.96%
4	スペイン国債	Euro	3.550	2033/10/31	A+/A3	5.40%
5	イタリア国債	Euro	1.650	2032/03/01	BBB+/Baa2	4.94%
6	スペイン国債	Euro	1.250	2030/10/31	A+/A3	4.87%
7	欧州連合	Euro	3.000	2034/12/04	AA+/Aaa	4.26%
8	米国国債	USD	4.250	2035/05/15	AA+/Aa1	4.03%
9	オランダ国債	Euro	0.500	2032/07/15	AAA/Aaa	3.54%
10	イタリア国債	Euro	1.650	2030/12/01	BBB+/Baa2	3.19%

※格付はS&P/Moody'sの格付となります。

市場動向

1月の債券市場は、月前半は雇用統計の内容が強弱まちまちで、米金利は横ばいとなりました。月後半は、米国の対外政策による地政学的リスクの懸念等から米国資産から金等の実物資産に資金が向かう中、米国政策金利据え置き観測や日本の金利上昇等もあいまって、米金利は上昇しました。欧州では、政策金利がしばらく据え置かれる見通しから、金利は横ばいとなりました。

通貨市場では、円は財政悪化懸念から一時円安が進行しましたが、米当局のレートチェック実施の報道から円が急伸し、対米ドルで上昇しました。ユーロは高い不透明感を嫌気した米ドル売りを受け、対米ドルで上昇しましたが、対円では下落しました。

運用状況

デュレーションは、財政悪化懸念や地政学リスクの高まりを背景に、先進国債券市場の金利が上昇する中で、金利リスクを抑制し、月末時点でベンチマーク程度としました。債券市場配分では、NZ、豪州の国債等から、ユーロ圏のイタリア、中国、シンガポールの国債等に入れ替え、月末時点の主なポジションは、ユーロ圏、英国、NZ等をオーバーウェイト、米国、中国等をアンダーウェイトとしました。物価連動債の組入れは、米国で維持しました。通貨配分では、米ドルをオーバーウェイトからほぼ中立に転換し、月末時点の主なポジションは、豪ドル、スウェーデンクローナ、ノルウェークローネ等をオーバーウェイト、英ポンド等をアンダーウェイトとしました。

今後の見通し

トランプ大統領の就任から約1年が経過し、不確実性への耐性をつけた市場は経済の楽観論に傾くものの、米国の関税政策や米中対立等をめぐる不確実性の残存、先進国に共通する少子高齢化や外需依存といった構造問題により、経済回復には時間を要すると予想します。引き続き、外的なショックに弱い開放小国で金利低下が期待できると見るものの、累積的な利下げ効果を受けた景気や労働市場の回復具合を注視することが重要と想定します。機動的なリスク管理、分散投資を施し、収益獲得を目指します。通貨配分では、主なポジションとして、豪ドル、スウェーデンクローナ、ノルウェークローネ等をオーバーウェイト、英ポンド等をアンダーウェイトとする方針です。

当資料は、ベアリングス・ジャパン株式会社（金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第396号、一般社団法人日本投資顧問業協会会員、一般社団法人投資信託協会会員）（以下、「当社」）が、ベアリング外国債券ファンドVA2（適格機関投資家専用）の運用状況に関する情報提供を目的に作成した資料で、法令に基づく開示書類あるいは勧誘に関する資料ではありません。当資料は、当社が信頼できる情報源から得た情報等に基づき作成していますが、内容の正確性あるいは完全性を保証するものではありません。当資料に掲載した運用状況に関するグラフ、数値その他の情報は過去の一時点のものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

Date Complied：2018年1月11日、東京 Ref No. I20181Q03

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：バランス型30

バランスVA30

夢咲かせ

ファンド名：バランスＶＡ３０

作成基準日：　2026年1月30日

ファンドの特色

① 主として、日本株式マザーファンド、日本債券マザーファンド、外国株式マザーファンドおよび外国債券マザーファンドに投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

② 基本配分比率は国内株式15%、国内債券35%、外国株式15%、外国債券35%とします。

③ 上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動許容幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。

④ 実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。

⑤ 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	25,856円	-19円
解約価額	25,856円	-19円
純資産総額	315百万円	-25百万円

※純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	16.6%	15.0%	1.6%
日本債券マザー	34.0%	35.0%	-1.0%
外国株式マザー	14.5%	15.0%	-0.5%
外国債券マザー	34.7%	35.0%	-0.3%
コール他	0.2%	0.0%	0.2%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)投資信託純資産総額比

基準価額の騰落率

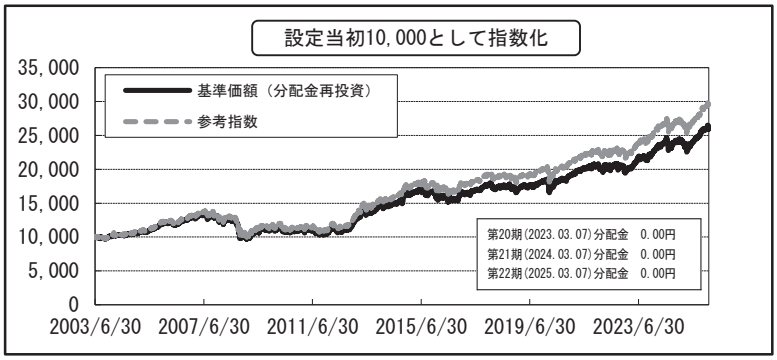
ファンド設定日：2003/06/30

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.07%	+0.81%	+6.29%	+7.50%	+30.69%	+160.53%
参考指数	-0.13%	+0.71%	+6.34%	+7.84%	+31.99%	+192.53%
差	+0.05%	+0.09%	-0.04%	-0.34%	-1.30%	-32.00%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

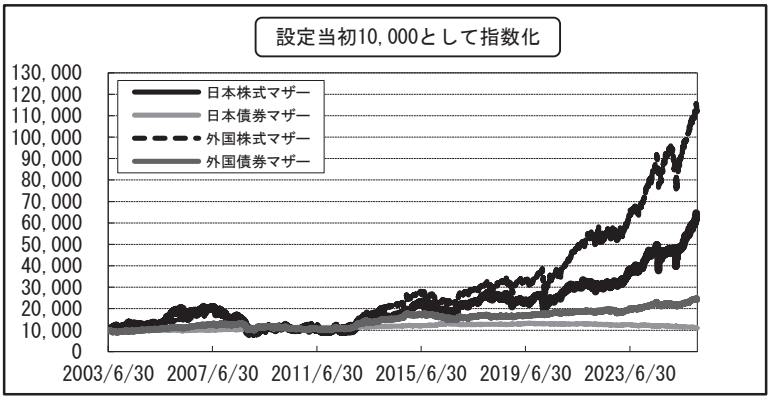
基準価額の推移（当ファンド）

設定来分配金合計　100 円
（10,000口あたり、課税前）



※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

【ご参考】マザーファンドの推移



◇ 1月の市場動向

【日本株式】 国内株式市場は上昇しました。月前半は、年初から欧米株式市場で半導体株が上昇したことや、衆議院解散観測による政策推進期待から買いが優勢となり、日経平均株価、TOPIXともに最高値を更新しました。月後半は、政府・日銀による為替介入への警戒感などから輸出関連株や景気敏感株の売りが優勢となり、小幅に下落しました。

【日本債券】 国内債券市場では10年国債利回りが一時2.380%と約27年ぶりの水準まで上昇（価格は下落）しました。高市首相が衆議院解散を決めたことで、積極財政による財政悪化懸念が意識されました。さらに、日米両政府が円安阻止に動いたとの観測が、日銀の早期利上げ観測に繋がり、金利上昇圧力になりました。

【外国株式】 米国株式市場は上昇しました。米国によるベネズエラのマドゥロ大統領拘束を受けて、石油関連株などを中心に上昇しました。その後、グリーンランドを巡る米欧の対立激化から下落しましたが、トランプ米大統領が追加関税撤回を表明し、値を戻しました。
欧州株式市場は上昇しました。米株式市場が堅調に推移するなか、グリーンランドを巡る米欧の対立激化が懸念されたものの、トランプ米大統領が追加関税撤回を表明したことから、上昇しました。

【外国債券】 米国10年国債利回りは、上昇（価格は下落）しました。グリーンランドを巡る米欧の対立激化懸念や日本の長期金利が大幅に上昇したことが米国債市場にも波及し、上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、ほぼ横ばいでした。月前半は、ドイツやユーロ圏のインフレ率鈍化を受けて利回りは低下しましたが、月後半は、日米国債利回り上昇の影響を受けて利回りが上昇し、月間ではほぼ横ばいとなりました。

設定・運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメント（https：//www.smtam.jp/）

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：バランス型50

バランスVA50

夢咲かせ

ファンド名：バランスＶＡ５０

作成基準日：　2026年1月30日

ファンドの特色

① 主として、日本株式マザーファンド、日本債券マザーファンド、外国株式マザーファンドおよび外国債券マザーファンドに投資し、内外の株式・公社債への分散投資をすることにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

② 基本配分比率は国内株式25%、国内債券25%、外国株式25%、外国債券25%とします。

③ 上記の基本配分比率には各資産毎に一定の変動許容幅を設けます。また、市況動向等の変化に応じて当該基本配分比率の見直しを行う場合があります。

④ 実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては原則為替ヘッジを行いません。
ただし、運用効率の向上を図るため、為替予約取引等を活用する場合があります。

⑤ 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引および債券先物取引等を活用することがあります。このため、株式および債券の組入総額と株価指数先物取引および債券先物取引等の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ファンドの状況

●基準価額等

		前月末比
基準価額	36,378円	+213円
解約価額	36,378円	+213円
純資産総額	3,077百万円	-10百万円

※純資産総額は百万円未満四捨五入

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	26.0%	25.0%	1.0%
日本債券マザー	23.8%	25.0%	-1.2%
外国株式マザー	25.5%	25.0%	0.5%
外国債券マザー	24.6%	25.0%	-0.4%
コール他	0.1%	0.0%	0.1%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

(注)投資信託純資産総額比

基準価額の騰落率

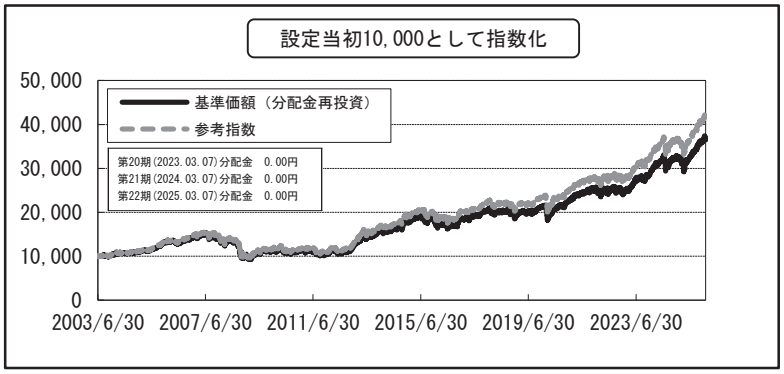
ファンド設定日:2003/06/30

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	+0.59%	+2.11%	+9.72%	+12.40%	+47.84%	+266.39%
参考指数	+0.55%	+2.04%	+9.70%	+12.54%	+49.00%	+312.91%
差	+0.04%	+0.07%	+0.02%	-0.14%	-1.15%	-46.53%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産（マザーファンド）のベンチマーク収益率に、各基本資産配分比率を乗じて当社にて算出したものです。

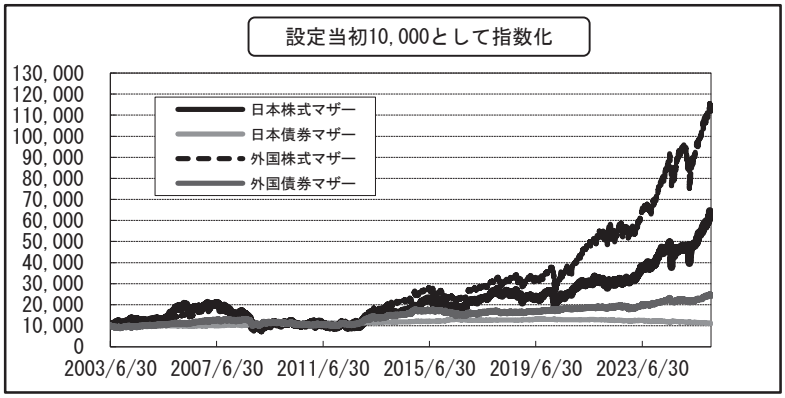
基準価額の推移（当ファンド）

設定来分配金合計　100　円
（10,000口あたり、課税前）



※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

【ご参考】マザーファンドの推移



◇ 1月の市場動向

【日本株式】 国内株式市場は上昇しました。月前半は、年初から欧米株式市場で半導体株が上昇したことや、衆議院解散観測による政策推進期待から買いが優勢となり、日経平均株価、TOPIXともに最高値を更新しました。月後半は、政府・日銀による為替介入への警戒感などから輸出関連株や景気敏感株の売りが優勢となり、小幅に下落しました。

【日本債券】 国内債券市場では10年国債利回りが一時2.380%と約27年ぶりの水準まで上昇（価格は下落）しました。高市首相が衆議院解散を決めたことで、積極財政による財政悪化懸念が意識されました。さらに、日米両政府が円安阻止に動いたとの観測が、日銀の早期利上げ観測に繋がり、金利上昇圧力になりました。

【外国株式】 米国株式市場は上昇しました。米国によるベネズエラのマドゥロ大統領拘束を受けて、石油関連株などを中心に上昇しました。その後、グリーンランドを巡る米欧の対立激化から下落しましたが、トランプ米大統領が追加関税撤回を表明し、値を戻しました。
欧州株式市場は上昇しました。米株式市場が堅調に推移するなか、グリーンランドを巡る米欧の対立激化が懸念されたものの、トランプ米大統領が追加関税撤回を表明したことから、上昇しました。

【外国債券】 米国10年国債利回りは、上昇（価格は下落）しました。グリーンランドを巡る米欧の対立激化懸念や日本の長期金利が大幅に上昇したことが米国債市場にも波及し、上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、ほぼ横ばいでした。月前半は、ドイツやユーロ圏のインフレ率鈍化を受けて利回りは低下しましたが、月後半は、日米国債利回り上昇の影響を受けて利回りが上昇し、月間ではほぼ横ばいとなりました。

設定・運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメント（https：//www.smtam.jp/）

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

特別勘定の名称：短期資金Ａ型

フィデリティ・マネー・プールVA

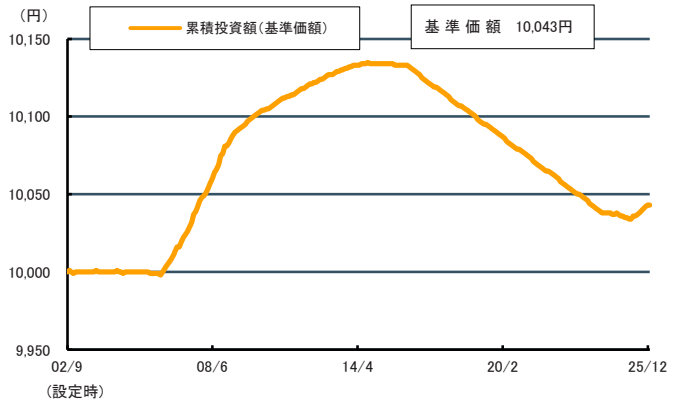
夢咲かせ

◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

商品概要

形　態	追加型投信／国内／債券
投資対象	本邦通貨表示の公社債等
設 定 日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決 算 日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

設定来の運用実績 (2026年1月30日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。
※基準価額は運用管理費用控除後のものです。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

純資産総額	57.9 億円	(2026年1月30日現在)

累積リターン (2026年1月30日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.00%	0.02%	0.06%	0.08%	−0.08%	0.43%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円
第 23期(2024.12.02)	0円
第 24期(2025.12.01)	0円

組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース) (2025年12月30日現在)

	銘 柄	種類	格付	比率
1	1347国庫短期証券 2026/03/09	債券	A	32.2%
2	1343国庫短期証券 2026/02/16	債券	A	22.9%
3	1334国庫短期証券 2026/01/07	債券	A	22.0%
4	1335国庫短期証券 2026/01/13	債券	A	6.8%
5	1344国庫短期証券 2026/02/24	債券	A	4.2%
6	1337国庫短期証券 2026/01/19	債券	A	3.0%
7	1348国庫短期証券 2026/03/16	債券	A	2.0%
8	−	−	−	−
9	−	−	−	−
10	−	−	−	−

(組入銘柄数 ： 7)　上位10銘柄合計 93.2%
(対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース) (2025年12月30日現在)

資産別組入状況

債券	93.2%
CP	−
CD	−
現金・その他	6.8%

組入資産格付内訳

長期債券格付	AAA/Aaa	−
	AA/Aa	−
	A	93.2%
短期債券格付	A−1/P−1	−
	A−2/P−2	−
現金・その他		6.8%

平均残存日数	43.38日
平均残存年数	0.12年

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス／マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

Fidelity INTERNATIONAL フィデリティ投信株式会社

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧いただくにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

募集代理店

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028　東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問合わせ
フリーダイヤル　0120-125-104
https://www.ms-primary.com